

第2回あきた産業人材育成協議会 開催

「産業人材の育成、特にユニークでオリジナルな人材の育成には何が必要か」をテーマとする「第2回あきた産業人材育成協議会」が平成18年5月16日（火）秋田県庁県議会棟大会議室で開催されました。平成18年2月に開催された第一回に引き続き、委員以外の企業の方からの人材育成に関する現状、考え方等の紹介をいただきました。

・十和田ホテル 副支配人 菊地 勇咲 氏は

産業人材育成の考え方は、経済とは経世済民と理解し、お互いに助け合うこと、そのためにはコミュニケーション能力の向上が不可欠と述べられました。

・有限会社伊藤漬物本舗 代表取締役社長 伊藤 明美 氏は

従業員の人材育成について、一人前の後継者にするために、そのひとのための居場所と責任を与えながら、新たな仕事を生み出してもらうような環境づくりに心がけていることなどが述べられた。

・県産業技術総合研究センター 研究員 内田 富士夫 氏は

コンピューター援用による高度技術者養成プログラムを提案し、高校等に「デジタルエンジニアリング科」を設置し高度技術者の育成の必要性を述べられました。

その後の意見交換では、人材育成は企業経営者の責任で考えるべきことで、行政は企業の人材育成をサポートする役割を担って欲しい、県がどういう分野で立県していくのか明確なビジョンを示して欲しいとの意見などが述べられ、産業経済労働部佐藤部長からは県の発展計画第三期実施計画に盛り込まれた県が推進する産業の重点分野についての説明がなされました。

第三回の標記会議は、平成18年7月11日を予定しています。



写真) 第一回産業人材育成協議会の様子